

Rd

Nov. 2016
No. 263

RECYCLE DESIGN

横浜型地域貢献企業
最上位認定取得

RECYCLE
Design

霧が丘学園
小学部准校長
宇都宮 桂さん

霧が丘連合自治会
会長
塚田 順一さん

霧が丘連合自治会
副会長
片上 幹史さん

霧が丘連合自治会
事務局長
岡島 峯子さん

霧が丘連合自治会
副会長
栗原 義明さん

特集

粗大ごみの リユースとリサイクル



特集

粗大ごみの リユースとリサイクル

横浜市では粗大ごみの回収は申し込み制で、有料となっています。読者の皆さんも一度は、粗大ごみを出したことがあると思います。回収された家具類などで、まだ使用可能なものがリユース品として無料提供されていることはご存知の方もいると思います。しかし、リユースできない粗大ごみは、回収後、どのように処理されているのでしょうか。そこで今回は、粗大ごみのリユースとリサイクルについてご紹介します。

取材協力:横浜市資源循環局、横浜市資源循環公社、鶴見資源化センター、栄事務所

年間約194万個の粗大ごみを収集し リユースが可能なものは無料で提供

**毎日約3,600件回収して
年間1万8,780トン进行处理**

横浜市では、粗大ごみの収集は事前申し込み制で、有料です。粗大ごみとは、金属製品の場合で一番長い辺が30cm以上のもの、プラスチック製品や木製品など金属製品以外の場合で50cm以上のものとなっています。読者の皆さんも一度は回収をお願いしたことがあると思いますので、よくご存じだと思います。

そこで今回は、粗大ごみの回収と処理の現状について、横浜市資源循環局の鶴見資源化センターと栄区にある粗大ごみ金属ヤードを取材し、

お話を伺ってきました。

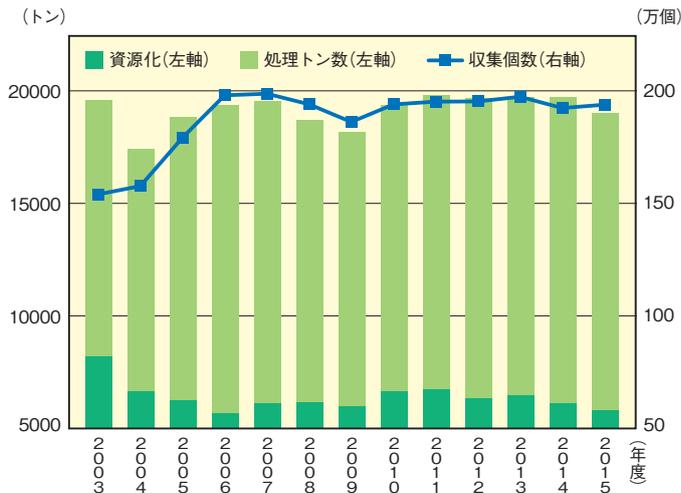
横浜市の粗大ごみの年間処理量は、2015年度で約1万8,780トン、個数にして約194万個になります。右頁の**グラフ1**を見るとわかるように、2006年度以降はほとんど増減がありません。しかし、横浜市の人口は2006年度の約358万人から2015年度には約371万人へと約13万人も増加しています。この人口の増加分を考えると、粗大ごみの量はわずかながら減ってきているということが言えるかもしれません。

粗大ごみは、収集を申し込む以外に、自分で処理施設に持ち込むことが可能です。しかし、皆さんから持

ち込まれた粗大ごみの量は、2015年度で約19万2,000個。全体の約10%ほどで、9割が収集によって処理されています。

そのため、横浜市に申し込まれた年間の収集件数は、2015年度で110万5,834件もあり、非常に多くなっています。年間の稼働日数を基に1日当たりに換算すると、1日、約3,600件もの粗大ごみを収集していることになるのです。2015年度の横浜市の人口が371万人で、年間の回収個数が194万個ですから、横浜市の人口の約半数の人が1年間に1回の粗大ごみを出している計算になります。

グラフ1：粗大ごみ処理量の推移



出典：横浜市資源循環局

表1：粗大ごみとして回収できない物

家電類・パソコン	エアコン、テレビ、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機、衣類乾燥機、パソコンなど
処理が困難なもの	タイヤ、バッテリー、金庫、ピアノ、ガスボンベ、灯油、塗料、薬品類など
その他	バイク、消化器、アスベストを含むもの
一時多量ごみ	引っ越しなどで一度に大量に出るごみ
工事などで出るもの	畳、ブロック、フェンス、交換した器具類、構造物など

家具と自転車が多いが一部電気製品などは対象外

回収される粗大ごみの種類を数が多い順にご紹介しましょう。1位が「布団」、2位「椅子」、3位「衣装箱・衣装ケース」、4位「自転車」、5位「テーブル」で、ほとんどが家具類であることがわかります。

粗大ごみに関する問い合わせで多いのが家電類の回収についてです。しかし、テレビやエアコン、冷蔵・冷凍庫、洗濯機などは家電リサイクル法で処理が定められており、粗大ごみとして回収することができません。基本的な処理方法は、購入したお店や買い替え品を購入するお店に引き取ってもらうことです。パソコンも資源有効利用促進法という法律で処理方法が決められています。こちらも一般家庭から出されるパソコンは、パソコンメーカーが回収することになっています(表1)。

一方で、炊飯器、掃除機、電話機、プリンターなどは、サイズによって「燃やすごみ」として出すことができます。掃除機などもホース

を外して部品に分け、一番長い部分が50cm未満であれば「燃やすごみ」になります。家庭用プリンターも最近コンパクトになっており、ほとんどが50cm未満に収まります。

粗大ごみの申し込みは休み明けに集中する

粗大ごみの収集は「粗大ごみ受付センター」に電話またはインターネットで申し込むことになっています。特に電話で申し込む時には、いくつか注意したい点があります。ひとつは申し込みの電話をする前に粗大ごみの素材やサイズを確認しておく、オペレーターとのやりとりがスムーズに進むということです。粗大ごみの種類や出す場所なども誤解があると回収できなくなってしまうことがあるので、申し込み時によく確認すると安心です。

また、粗大ごみの処理シールは、収集を申し込んだあとに購入することで無駄な購入が防げます。自分で事前に調べて先に処理シールを購入してしまうと、申し込み時にオペレーターから言われた料金と過不足

が発生する場合があります。不足している場合は、足りない料金分の処理シールを追加購入することになります。多かった場合は、購入してしまった処理シールの料金が返金できないことになっているため、多くてもそのまま使うか、使わずにとっておいて、正しい金額の処理シールを再購入することになってしまいます。ちなみに、処理シールに使用期限はありませんから、保管しておいて、次に粗大ごみを出すときに使用することが可能です。

粗大ごみの申し込みの電話は休み明けに集中します。特に3月、4月の引っ越しシーズン、5月のゴールデンウィーク明け、年末などの電話受付は大変な混雑となります。通常は、申し込みから収集まで2週間程度ですが、年末は12月上旬に申し込んでも、収集が年明けになってしまうことがあるほどです。できるだけ混雑する時期を避けるか、インターネットで申し込むのがよさそうです。ちなみに、雨の日はなぜか申し込みの電話が少ない傾向にあるそうです。

図1：粗大ごみの回収と処理の流れ

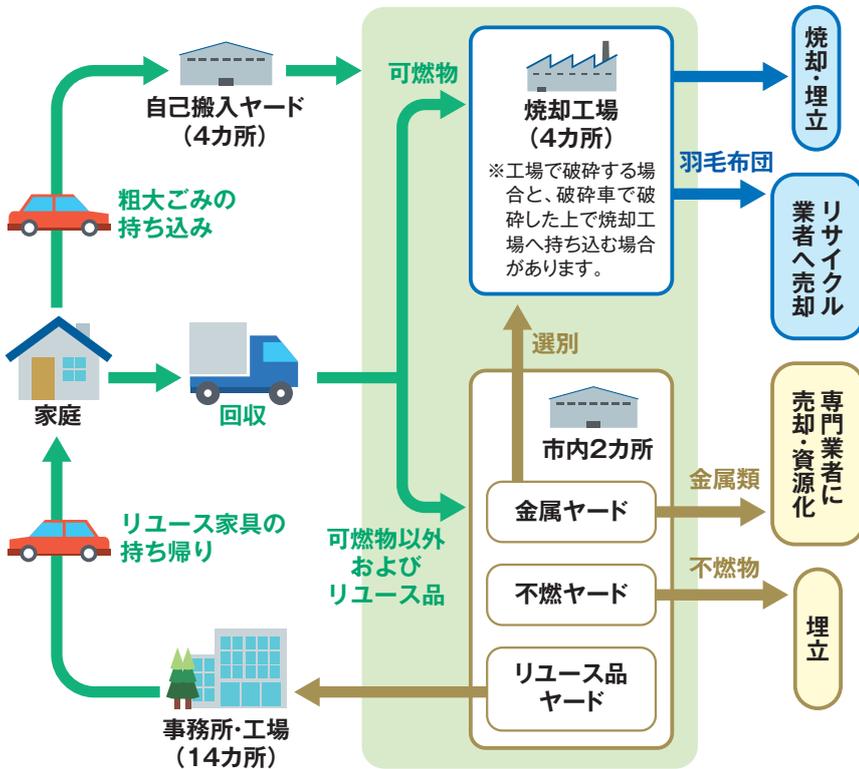


写真1：ラックや棚などの金属製品。



写真2：レンジやファンヒーター、家電類。



写真3：自転車も数多く出される。



写真4：ソファやベッドマットレス。



写真5：処理が終了した金属資源物。

リユース品を選び分け 金属類と可燃物に選別

ここからは、粗大ごみの処理工程についてご紹介します(図1)。粗大ごみの収集は、横浜市から委託された専門業者が担当しており、各家庭からトラックに積んで、市内の処理施設に運びます。処理施設では、最初に汚れや破損がなく、リユース可能なものを選び分けます。選別されたリユース可能な家具類は、のちほど資源循環局収集事務所や工場など市内14カ所の展示場に運ばれ、市民の皆さんに無料で提供されます。

リユースできない粗大ごみのうち、金属類は市内2カ所にある粗大ごみ金属ヤードに運び、金属以外の可燃物は市内4カ所ある焼却工場に運びます(写真1~4)。金属ヤードに運び込まれた粗大ごみは、ひとつずつ

確認して選別したあと、金属以外のものを取り除いて金属資源として専門業者に売却されます(写真5)。

粗大ごみの中で処理にいちばん手間がかかるのは何でしょうか？ それはスプリングベッドマットレスです。金属部分と布やクッション材が強固に一体化しているため、人力による分解は不可能です。重機を使って外被の布を剥がし(写真6)、スプリングの間に結束されているクッション材などを手で外して(写真7)、スプリングだけにして(写真8)、金属資源としてリサイクルしています。

金属製以外の粗大ごみと、金属ヤードで取り除かれた金属以外の可燃物(主に木材とプラスチックなど)は、市内4カ所ある焼却工場に運んで処理します(写真9)。今回取材した鶴見資源化センターには巨大な破碎機があり(写真10)、可燃物をあ

る程度の大きさに砕いて焼却炉内で燃えやすいように加工します。取材時には、大量の畳が破碎処理されていました(写真11)。畳が投げ込まれている投入口の下には巨大なカッターが設置されており、2階の操作席で投入の様子や破碎機の中の状況をモニターで見ながら操作します(写真12)。

破碎機で小さく砕かれた可燃物は、そのままベルトコンベアで焼却炉に続く「ごみピット」(5月号で紹介)に投入され、その後、焼却炉で焼却処理されます。

また、布団のうち羽毛布団が2016年2月からリサイクルできるようになっています。粗大ごみの中で一番多い「布団」のうち、羽毛布団がリサイクルできるようになったため、焼却処理される粗大ごみの減量にも貢献しています。



写真6: 重機を使ってマットレスの外被を剥がす。



写真9: 鶴見資源化センターの粗大ごみ処理ヤード。



写真11: 破砕機に畳を投入。中のカッターで切断していく。



写真7: スプリング内部のクッション類は手作業で外す。



写真8: スプリングだけになったマットレス。



写真12: 破砕機の操作台。モニターを見ながら運転する。



写真13: 資源循環局栄事務所内にあるリユース家具展示場。

リユース品は家具類以外もある

収集された粗大ごみの中から選別されたリユース品は、無料で提供されています(写真13)。

提供されるのは、自動車で運べるサイズ(長辺1m程度)のものになります。具体的には、衣装箱・衣装ケース、椅子、テーブル、机などの家具類が中心で数もたくさんあります。ほかにも各種の健康器具、ギ

ター、ゴルフバック、姿見(鏡)、釣り竿、子ども用すべり台などさまざまなものがあります。

ただし、破損していなくてもリユースできないものもあります。ショートする恐れがあるコンセントなどの電気部品が附属している家具類、車椅子などの福祉用品やベビーベッドのマットレスなどの乳幼児用品も事故発生の原因になる恐れがあるため、対象外となっています。

粗大ごみを減らすのは簡単ではあ

りません。しかし、まだ使える物を捨てる時は、譲れる人はいないかと、ちょっと考えてみたいところです。取材した金属ヤードには、購入したまま未開封の品物や新品の健康器具なども少なくありませんでした。金属製品は資源化することもできますが、環境負荷を考えると、リユース可能なものは、できるだけ使い続けることが重要です。皆さんも資源循環局事務所や工場で提供されているリユース品をぜひ活用してください。

Yahoo!ショッピングの「りくみリサイクル製品」サイトをご利用ください!

リサイクル組合の再生商品は、Yahoo!ショッピングの「りくみリサイクル製品コーナー」でも購入できます。取扱商品は、①シングルセット、②りくみのトレペ、③小結くん(紙ひも)、④ダブルセット、⑤ハイブリッドロールプレミアム(ダブル)の5商品です。クレジットカード決済が可能で、Tポイントも使えてお得です!

店舗URL <http://store.shopping.yahoo.co.jp/rikumi-store/>

●お問い合わせ・ご注文……横浜市資源リサイクル事業協同組合 事務局
TEL: 045-444-2531 E-mail: mail@recycledesign.or.jp

Yahoo!ショッピングの
検索窓から
「りくみの製品」
で検索





これでスッキリ!

No. 29 くみの分別講座

クギの正しい捨て方は?

3 できたぞう!

2 おっと失敗...
グキッ!
ヒヤヒヤするくみ...

1 本棚を作るぞう!
がんばれ~!

6 クギや刃物など、危険なものは紙で包み、ちゃんと品名を書くのじゃ! 収集の時に人がケガをせんようにのう。
カッター、包丁、クギ、ハリ

5 お教えてしんぜよう!

4 このクギはどう捨てたらいいくみ?

9 バラァッ!
あ~っ!

8 しかし、へらぞうもこんな特技を持っていたとは...
ポン!

7 あとは小さな金属類で出せばよいのじゃ
小さな金属類

始末の一品

リメイク料理編

Rd

今月の残りの料理

【クリームシチュー】



寒くなるとシチューなどの煮込み料理を作ることが増えると思います。残ったシチューは冷凍しておいてもなかなか使う機会がないこともあります。今回はそんなシチューのアレンジレシピをご紹介します。

パングラタン



材料(1~2皿分)

- クリームシチュー……約カップ1
- ブロccoli……2片
- 玉ねぎ……¼個
- ベーコン……1枚
- 食パン……1枚
- 粉チーズ……大さじ1~2
- バター……大さじ½

- ① 食パンはトーストしてバターを塗ったら一口大に切り、グラタン皿に入れておく。
- ② ベーコン、玉ねぎ、ブロッコリーは薄切りにして、サラダ油小さじ1で炒める。軽く塩・こしょうをしてクリームシチューを入れ、よく混ぜてソースを作る。
- ③ ①に②をかけ、粉チーズをふってトースターで焦げ目がつくまで焼く(約10分)。

材料(1人分)

- クリームシチュー……約カップ1
- 豚肉(もも薄切り)……1枚
- もやし・キャベツ……適量
- 水……指定の分量からカップ1を引く
- みそラーメン(市販)……1袋

- ① 市販のみそラーメンの水量に合わせて水とクリームシチューを鍋に入れて火にかける。軽く沸騰したら細切りにした豚肉とキャベツ、もやしを入れて煮る。沸騰させないように気をつけながら材料に火を通す。
- ② 麺は別鍋で指定時間通りにゆで、しっかり湯切りして器に移す。
- ③ 麺に①をかけて軽く混ぜる。

豚骨風みそラーメン



RD NEWS



2016年11月号 通巻263号
2016年10月25日発行

横浜市地域貢献企業最上位認定取得

「学校等アルミ缶もったいないプロジェクト」が賞を受賞!

リサイクル組合が取り組んでいる「学校等アルミ缶もったいないプロジェクト」が、3R推進協議会による「3R推進功労者等表彰」で3R推進協議会会長賞を受賞しました。さらに、アルミ缶リサイクル協会による「アルミ缶回収優秀校」の表彰においても、リサイクル組合が推薦した横浜市立希望ヶ丘小学校が表彰校として選出されました。

この活動は子どもたちに資源物の価値を感じてもらうだけでなく、地域との繋がりを強化するという効果もあります。学校の環境教育の一助

として「学校等アルミ缶もったいないプロジェクト」をぜひご活用ください。

●3R推進功労者等表彰

主旨: 3Rに取り組み顕著な実績を挙げている個人・グループ・学校・事業所・地方公共団体等を毎年表彰
主催: 3R推進協議会
受賞名: 3R推進協議会会長賞

●アルミ缶回収優秀校

主旨: アルミ缶の回収に取り組み、顕著な実績を挙げている小・中学校を対象に毎年表彰
主催: アルミ缶リサイクル協会
受賞校: 横浜市立希望ヶ丘小学校



問合せ先
横浜市資源リサイクル事業
協同組合 担当: 清水
TEL: 045-444-2531
FAX: 045-444-2532



いよいよ開催目前「環境絵日記展」

応募数2万1,693作品の中から、予備選考と市民選考会を経て604作品のリサイクルデザイン賞を選定し、最終選考会で優秀特別賞27作品が決定しました。ここまでこられたのは、ご家族や学校の先生、町内会、地域企業の皆さま、行政の方々が、子どもたちを取り巻く環境を整えてくださっているおかげです。リサイクル組合だけでは「いいね!」と言うことしかできませんが、たくさんの人がいれば子

どもたちの思い描く未来を実現できるかもしれない! そう感じました。10月30日に大さん橋ホールで開催される「環境未来都市・環境絵日記展2016」には、リサイクルデザイン賞受賞作品がずらりと並びます。今年は会場のレイアウトも変えています。皆さまが楽しめるイベントづくりに向け、スタッフ一同ラストスパートをかけております。ぜひ会場でお会いしましょう!



2016年度環境絵日記大賞作品

お問い合わせ先: 横浜市資源リサイクル事業協同組合 担当: 清水
TEL: 045-444-2531
FAX: 045-444-2532

表紙に登場!
今月の町内会
Recycle Designer

霧が丘連合自治会

外国人の住民には英語で収集、分別の情報を提供

霧が丘連合自治会は約3,800世帯が加入しています。住民には海外の方も多く、分別や収集日に関する情報を英語で作成して配布するなどの工夫もしているそうです。今回の表紙の撮影日には、ちょ

うど小学校の運動会が開催されていました。自治会主催の運動会では、会場から出るごみの分別について環境推進委員が指導することで住民の皆さんに啓発を行っているそうです。また、小学校の先生が出席された

り、吹奏楽部の演奏が行われたりと、学校と地域の良好なつながりも感じられました。表紙に登場していただいた先生も急なお願いにもかかわらず、快くご協力いただきました。誠にありがとうございました。

リサイクルデザインのバックナンバーは、ホームページからもご覧いただけます

<http://www.recycledesign.or.jp/rd/>

スマホ、タブレットなどはこちらのQRコードからアクセスできます。

